

たてやままち
富山県立山町議会 産業厚生常任委員会来町

立山町の概要

富山市の南東に隣接し、北アルプス北部の山々が高くそびえたつ立山連峰と、その裾野に広がる広大な平野を有する緑豊かな自然景観に恵まれた町。黒部ダム、みくりが池、雪の大谷などが有名である。人口約 25,000人、面積約 307km²、議員定数 14人。



愛知川ふれあい本陣を出発

10月19日、富山県立山町議会産業厚生常任委員会委員7名および関係職員が行政視察のため本町を訪問された。村田議長、村西副議長、総務産業建設常任委員会 森野委員長、瀧副委員長、副町長、商工観光課等と意見交換を実施した。主に、本町が実施するレンタサイクルやスイーツライドの状況を確認された。

立山町議会からの情報提供として、立山町観光協会が、立山町と包括連携協定を締結しているアウトドア用品大手とサイクリングコースを設定したことや、ジャパンエコトラック※の一環で全国27箇所目のスポットとして設定されたことを紹介された。

また、本町商工観光課が先導し、愛知川ふれあい本陣や近江上布伝統産業会館の視察も含めて、中山道周辺をサイクリングしていただいた。その後、バスで移動され湖東三山館あいしょうの施設見学を実施された。

※ジャパンエコトラックとは、トレッキング・カヌー・自転車といった人力による移動手段で、日本各地の豊かで多様な自然を体感し、地域の歴史や文化、人々との交流を旅をすること。

幼稚園小中学校訪問
教育民生常任委員会



学校での意見交換

11月14日、11月16日の2日間にわたり、町長、副町長、教育長、教育委員等と合同で、幼稚園、小学校、中学校を訪問し、授業や施設の状況を確認し、園長、学校長との意見交換を行った。コロナ禍での教育環境に配慮さ
れており、園、学校生活における充実を図られていた。

幼稚園においては、園庭の除草、発表会の衣装作成、遠足に同行され尽力いただいている保護者ボランティアグループの状況を確認した。
小学校においては、修学旅行の状況を確認した。また、中学校においても、修学旅行の状況を確認した。また、高校入試一般選抜の状況、いじめ対策についての対応状況を確認した。
全体的に、施設の安心・安全対策についても、柔軟に対応していくことが重要であると認識した。

教育民生常任委員会
委員長 竹中 秀夫

第46回町議会広報研修会



広報研修会での講演

11月18日、滋賀県6町の町議会広報委員を対象とした広報研修会が、竜王町竜王防災センターで開催された。一般社団法人 埼玉県コミュニケーションセンター 理事 芳野政明氏による講演ならびに広報紙クリニックスが実施され、議会だより発行の目的・意義を確認した。

「開かれた議会」「民意の反映と意思決定過程の可視化」

自治体に関する住民の判断材料の提供」を基本とし、説明責任を果たし、住民・読者の関心に応えながら、住民とのつながり、関係性を強化することが重要であると再認識した。これからも、住民の自治意識の醸成へ貢献する「議会だより」の編集に努めていきたい所存である。

広報常任委員会
委員長 久保田 正利

第63回町議会議員研修会

11月2日、滋賀県6町の町議会議員を対象とした議員研修会が、日野町わたむきホール虹で開催された。第1部は、働き・暮らし応援センター”tekito-”センター長 野々村光子氏による「10年後の彼と地域を見つめた就労支援～未来への下ごしらえ～」を演題とした講演であった。働き・暮らし応援センターは、障がいのある方の就労実現を行うため、多岐にわたる他機関との連携を含め必要な生活支援の実施と共に、障がい者の就労ニーズと企業の雇用ニーズをマッチングさせ就労の促進を図ることを目的とし、福祉圏域単位に相談窓口が設置されている。働くことは、単なる作業ではなく、生きる力を育むステージであり、誰もが真剣であり、誰もがカッコイイ、輝く場所があることなどを熱く講演され、働く人の思いが重なって大きな大きな力になることを痛感した。

第2部は、滋賀県土木交通部理事 平松良哉氏による「地域公共交通の活性化に向けた取組について」を演題とした講演であった。地域交通は、自家用車依存・人口減少の進行に伴う公共交通利用者の減少に加え、コロナ禍の影響により事業者の経営が極めて悪化している中、現行の事業路線を維持確保することが必要である。また、高齢者の運転免許返納の増加への対応など、自らは運転しない人の移動手段を確保するため、公共交通の利便性向上と利用促進を図り、自家用車から公共交通への利用の転換が必要であることが、課題である。令和6年度から近江鉄道の「公有民営」方式による上下分離による運営が開始される。円滑に開始できるよう見守っていきたい。



滋賀県土木交通部理事 平松良哉氏



働き・暮らし応援センター”tekito-”センター長 野々村光子氏